



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 JTトラスト株式会社

上場取引所 大

コード番号 8508 URL <http://www.it-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤澤 信義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 黒田 一紀

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-4330-9100

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,106	18.6	1,957	△29.4	1,288	△53.6	30,306	—
23年3月期第2四半期	8,522	△0.1	2,773	98.9	2,776	86.8	1,954	24.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 30,278百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1,969百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1,013.11	1,005.50
23年3月期第2四半期	65.86	65.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	124,823	45,270	35.2	1,468.81
23年3月期	37,862	13,961	36.7	464.78

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 43,968百万円 23年3月期 13,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,766	52.4	4,124	△4.6	4,045	△6.4	32,595	908.1	1,089.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) ネオインクレジット貸付株式会社、除外 1社 (社名)
KCカード株式会社

(注)詳細は、4ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	30,049,780 株	23年3月期	30,009,780 株
24年3月期2Q	114,786 株	23年3月期	114,716 株
24年3月期2Q	29,914,588 株	23年3月期2Q	29,675,684 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※決算補足説明資料の入手方法について

決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

(当社のホームページ)

<http://www.jt-corp.co.jp/>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による国内経済の停滞は回復基調にあるものの、電力供給不足問題や風評被害、円高・株安等の影響による市場の低迷が続いており、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する貸金業界においても、改正貸金業法の完全施行の影響によるマーケットの縮小や、利息返還請求の高止まり、及び資金調達環境の悪化等により事業の縮小や廃業が相次ぐなど厳しい経営環境が続いております。また、不動産業界におきましても、東日本大震災の影響により住宅建設が一部遅延する等一時停滞の状況にありましたが、サプライチェーンの正常化や政府による住宅に関連する景気刺激策等の後押しもあり、緩やかな回復基調にあります。

このような経営環境を踏まえ、当第2四半期連結累計期間において、当社グループでは、第1四半期会計期間に韓国の消費者金融会社であるネオラインクレジット貸付株式会社の全株式を取得し海外市場へ進出したことに引き続き、当第2四半期会計期間において、楽天株式会社からKCカード株式会社(旧 楽天KC株式会社)の株式を取得しクレジットカード事業へ参入いたしました。今後は、同社が有するノウハウを活用しクレジットカード事業を展開していくとともに、保有資産の有効活用や顧客基盤を活かした保証事業の強化等を通じて、当社グループの企業価値の向上に努めてまいります。

信用保証業務につきましては、株式会社西京銀行との間で、新たに事業者向け有担保ローンに関する保証業務契約を締結するなど、債務保証残高の積み上げを図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、KCカード株式会社のクレジット事業収益を加算したことにより10,106百万円(前年同四半期比18.6%増)となりました。しかしながら、営業利益はグループの規模拡大に伴い販売費及び一般管理費が前年同四半期比66.6%増加したこと等により1,957百万円(前年同四半期比29.4%減)となり、また、経常利益は急激な円高、ウォン安による為替差損を計上したことにより1,288百万円

(前年同四半期比53.6%減)となりましたが、四半期純利益は、KCカード株式会社の株式取得に係る時価評価の結果、負ののれん発生益29,444百万円を特別利益に計上したことにより30,306百万円(前年同四半期は1,954百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 金融事業

(事業者向貸付業務)

事業者向貸付業務につきましては、主に株式会社ロプロにおいて取り扱っております。金融事業における中長期的な戦略として商業手形割引の推進を行った結果、商業手形の融資残高は順調に増加しておりますが、営業貸付金につきましては、回収が順調に進んだ結果減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における融資残高は、商業手形では2,060百万円(前年同四半期比36.7%増)、営業貸付金では2,212百万円(前年同四半期比27.6%減)、長期営業債権では25百万円(前年同四半期比16.5%減)となり、長期営業債権を含めた融資残高の合計は4,297百万円(前年同四半期比6.4%減)となりました。

(消費者向貸付業務)

消費者向貸付業務につきましては、株式会社ロプロ及び西京カード株式会社において取り扱っております。

当第2四半期連結会計期間末における融資残高は、回収が順調に進んだ結果、営業貸付金では7,106百万円(前年同四半期比41.7%減)、長期営業債権では1,708百万円(前年同四半期比38.4%減)、長期営業債権を含めた融資残高の合計は8,814百万円(前年同四半期比41.1%減)となりました。

(クレジット・信販業務)

クレジットカード業務につきましては、当第2四半期連結会計期間にKCカード株式会社を連結子会社としたことにより、前身の国内信販株式会社から続くKCカードのブランド力と豊富なノウハウを活用したクレジットカード事業を展開しております。また、信販業務につきましては、株式会社ロプロ及び西京カード株式会社において割賦販売による信販業務を取り扱っております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における割賦立替金残高は、80,831百万円(前年同四半期は2,502百万円)、長期営業債権は8,704百万円(前年同四半期は39百万円)、長期営業債権を含めた割賦立替金残高の合計は89,535百万円(前年同四半期は2,541百万円)となりました。

(信用保証業務)

信用保証業務につきましては、主に株式会社日本保証、株式会社ロプロ及びKCカード株式会社において取り扱っております。中長期的な戦略として信用保証業務の拡充を推進しており、株式会社西京銀行及び株式会社東京スター銀行の貸付に対する保証を中心に債務保証残高の積み上げを図りました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における債務保証残高は、有担保貸付に対する保証では8,076百万円(前年同四半期比152.0%増)、無担保貸付に対する保証では4,854百万円(前年同四半期比5.1%減)となり、債務保証残高の合計は12,930百万円(前年同四半期比55.4%増)となりました。

(債権買取業務)

債権買取業務につきましては、当社、株式会社ロプロ、パルティール債権回収株式会社、合同会社パルティール及び合同会社パルティール・ワンにおいて取り扱っております。中長期的な戦略として、新たな債権についても積極的に買取を行っておりますが、買取債権の回収がそれを上回って推移しているため、当第2四半期連結会計期間末における買取債権残高は3,000百万円（前年同四半期比36.0%減）となりました。

以上の結果、金融事業における営業収益は8,106百万円（前年同四半期比16.4%増）、セグメント利益は2,022百万円（前年同四半期比21.5%減）となりました。

② 不動産事業

不動産事業につきましては、キーノート株式会社を中心に事業を展開しており、金融事業とのシナジーを活かしながら、建売住宅の販売・仲介だけでなく、注文住宅建設事業及び中古住宅のリノベーションなど、住宅関連ビジネスにより収益化を図っております。

以上の結果、不動産事業における営業収益は1,157百万円（前年同四半期比14.4%減）、セグメント利益は60百万円（前年同四半期比74.3%減）となりました。

③ 海外事業

海外事業につきましては、韓国において、ネオラインクレジット貸付株式会社が消費者金融事業を展開しており、韓国ソウル特別市を中心に、大田、大邱に支店を開設するなど成長する韓国消費者金融市場で着実に融資残高を伸ばし業容の拡大を図っております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における営業貸付金は4,842百万円となり、海外事業における営業収益は906百万円、セグメント利益は103百万円となりました。なお、当該連結子会社については、第1四半期連結会計期間における株式取得のため、前年同四半期比較をしておりません。

④ その他の事業

その他の事業につきましては、Jトラストシステム株式会社において主に当社グループのシステム開発、コンピュータの運用及び管理業務を行っております。

以上の結果、その他の事業における営業収益は453百万円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント利益は60百万円（前年同四半期比97.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ86,961百万円増加し124,823百万円（前期比229.7%増）となりました。これは主に、当第2四半期連結累計期間においてK Cカード株式会社及びネオラインクレジット貸付株式会社を連結子会社としたこと等により、割賦立替金及び営業貸付金の残高増加を主な要因として貸倒引当金が13,325百万円増加したことにより減少した一方、長期営業債権を含む割賦立替金が88,060百万円及び営業貸付金が1,912百万円、有形固定資産が4,228百万円増加したことに加え、現金及び預金が2,313百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ55,652百万円増加し79,553百万円（前期比232.9%増）となりました。これは主に、K Cカード株式会社を連結子会社としたこと等により割引手形を含む長短借入金18,571百万円、楽天株式会社に対する支払を含む未払金が19,102百万円、利息返還損失引当金が17,064百万円とそれぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ31,308百万円増加し45,270百万円（前期比224.2%増）となりました。これは主に、剰余金の配当を179百万円行ったことにより利益剰余金が減少した一方で、四半期純利益を30,306百万円計上したことによるものであります。

以上の結果、1株当たり純資産額は前連結会計年度末より1,004円03銭増加し1,468円81銭となり、自己資本比率は総資産が増加したことにより前連結会計年度末36.7%から1.5ポイント低下し35.2%となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,557百万円増加し、16,705百万円（前年同四半期比84.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、17,233百万円（前年同四半期は4,523百万円の資金の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が30,721百万円、割賦立替金の純減額が4,631百万円と資金が増加した一方で、負ののれん発生益が29,444百万円、K Cカード株式会社に対する貸付金の譲受による支出が19,994百万円と資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、3,910百万円（前年同四半期は411百万円の資金の減少）となりました。これは主に、ネオラインクレジット貸付株式会社の株式の取得による支出が647百万円と資金が減少した一方で、KCカード株式会社の株式の取得による収入が4,010百万円、有形固定資産の売却による収入が384百万円と資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、15,897百万円（前年同四半期は1,204百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額が179百万円と資金が減少した一方で、借入金の純増額が15,790百万円と資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年9月16日公表の業績予想から変更はありません。今後の動向により修正の必要性が生じた場合は、適切かつ速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、韓国の消費者金融会社であるネオラインクレジット貸付株式会社の発行済株式の全株式を取得し、連結子会社としたため、連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、楽天株式会社よりKCカード株式会社（旧 楽天KC株式会社）の株式を取得し、連結子会社としたため、連結の範囲に含めております。

(2) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,846,078	17,159,216
商業手形	1,900,086	2,060,509
営業貸付金	11,725,831	14,160,388
割賦立替金	1,443,454	80,831,583
買取債権	4,008,882	3,000,703
求償権	518,308	505,356
商品及び製品	412,182	1,133,843
仕掛品	153,259	39,934
その他	1,121,902	4,281,188
貸倒引当金	△1,836,658	△7,147,735
流動資産合計	34,293,325	116,024,988
固定資産		
有形固定資産	1,166,225	5,394,394
無形固定資産		
のれん	344,149	401,548
その他	111,626	96,718
無形固定資産合計	455,775	498,266
投資その他の資産		
長期営業債権	2,286,790	10,437,826
その他	1,042,948	1,865,076
貸倒引当金	△1,382,519	△9,396,591
投資その他の資産合計	1,947,219	2,906,310
固定資産合計	3,569,220	8,798,972
資産合計	37,862,546	124,823,960
負債の部		
流動負債		
割引手形	1,291,838	1,573,252
短期借入金	2,465,516	3,391,827
株主、役員又は従業員からの短期借入金	—	15,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,515,545	1,805,710
未払金	304,509	19,407,463
未払法人税等	1,062,163	597,801
利息返還損失引当金	3,359,521	11,804,523
その他の引当金	—	180,420
その他	265,579	1,102,955
流動負債合計	10,264,673	54,863,953
固定負債		
長期借入金	10,814,803	12,888,134
利息返還損失引当金	2,382,998	11,002,846
債務保証損失引当金	203,372	180,872
退職給付引当金	—	245,736
その他	234,753	371,628
固定負債合計	13,635,928	24,689,218
負債合計	23,900,601	79,553,171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,496,096	4,500,056
資本剰余金	2,230,894	2,234,854
利益剰余金	7,235,454	37,362,851
自己株式	△72,978	△72,999
株主資本合計	13,889,466	44,024,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,190	4,107
為替換算調整勘定	—	△59,993
その他の包括利益累計額合計	5,190	△55,885
新株予約権	52,441	79,356
少数株主持分	14,846	1,222,554
純資産合計	13,961,944	45,270,789
負債純資産合計	37,862,546	124,823,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	8,522,163	10,106,207
営業費用	2,021,718	1,938,166
営業総利益	6,500,444	8,168,040
販売費及び一般管理費	3,726,837	6,210,326
営業利益	2,773,606	1,957,714
営業外収益		
受取利息	2,216	79
受取配当金	1,579	21,474
受取家賃	8,700	55,591
雑収入	8,109	9,773
営業外収益合計	20,605	86,919
営業外費用		
支払利息	6,553	8,226
減価償却費	5,729	8,766
保証金解約損	4,750	—
為替差損	—	734,446
雑損失	261	4,728
営業外費用合計	17,295	756,168
経常利益	2,776,916	1,288,465
特別利益		
固定資産売却益	5,229	22,706
投資有価証券売却益	—	86
負ののれん発生益	6,926	29,444,347
その他	—	760
特別利益合計	12,156	29,467,900
特別損失		
固定資産売却損	2,669	5,994
固定資産廃棄損	10,414	2,587
固定資産評価損	760	1,926
減損損失	33,218	21,308
投資有価証券売却損	—	2,839
投資有価証券評価損	25	—
特別損失合計	47,087	34,655
税金等調整前四半期純利益	2,741,986	30,721,710
法人税、住民税及び事業税	796,839	529,021
法人税等調整額	△23,948	△147,021
法人税等合計	772,890	382,000
少数株主損益調整前四半期純利益	1,969,095	30,339,709
少数株主利益	14,571	32,942
四半期純利益	1,954,524	30,306,767

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,969,095	30,339,709
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	653	△1,082
為替換算調整勘定	—	△59,993
その他の包括利益合計	653	△61,075
四半期包括利益	1,969,749	30,278,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,955,178	30,245,692
少数株主に係る四半期包括利益	14,571	32,942

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,741,986	30,721,710
株式報酬費用	17,576	29,775
減価償却費	49,247	76,777
固定資産売却損益 (△は益)	△2,560	△16,712
固定資産評価損	760	1,926
減損損失	33,218	21,308
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	2,753
投資有価証券評価損益 (△は益)	25	—
負ののれん発生益	△6,926	△29,444,347
のれん償却額	43,018	55,485
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,143,704	△1,304,815
貸倒償却額	2,291,355	3,065,438
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△351,752	△845,150
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	16,240	△22,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	19,150
その他の引当金の増減額 (△は減少)	—	48,700
受取利息及び配当金	△3,796	△21,554
支払割引料及び支払利息	296,822	420,826
為替差損益 (△は益)	—	552,291
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△395,917	△608,336
関係会社貸付金の譲受による支出	—	△19,994,449
担保に供している預金の増減額 (△は増加)	595,174	46,281
その他	21,599	△2,426,310
小計	4,202,365	△19,621,750
利息及び配当金の受取額	3,797	21,550
利息等の支払額	△313,730	△476,443
法人税等の支払額	△490,964	△1,275,923
小計	3,401,469	△21,352,566
商業手形の増加額	△1,660,202	△3,430,114
商業手形の減少額	1,650,243	3,257,796
営業貸付金の増加額	△2,654,508	△5,332,243
営業貸付金の減少額	2,013,292	3,716,614
割賦立替金の増加額	—	△15,551,908
割賦立替金の減少額	1,738,515	20,182,909
買取債権の増加額	△895,632	△112,417
買取債権の減少額	1,492,719	900,466
買取債権の取得に係る未払金の減少額	△1,850,500	—
長期営業債権の増減額 (△は増加)	△66,747	527,499
営業貸付金の譲渡による収入	1,422,691	—
求償権の増加額	△107,204	△88,222
求償権の減少額	39,749	49,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,523,886	△17,233,024

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△100,000	198,000
有形固定資産の取得による支出	△43,018	△66,668
有形固定資産の売却による収入	153,202	384,761
無形固定資産の取得による支出	△2,413	—
投資有価証券の取得による支出	△506,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	31,470
投資有価証券の清算分配による収入	5,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△647,183
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	81,328	4,010,714
その他	—	△736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△411,900	3,910,357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
手形割引による収入	1,417,947	3,354,295
手形割引落ち込みによる支出	△1,397,586	△3,072,881
短期借入れによる収入	3,551,598	18,510,485
短期借入金の返済による支出	△4,058,008	△5,083,636
長期借入れによる収入	—	3,100,000
長期借入金の返済による支出	△510,932	△736,504
自己株式の取得による支出	△9	△21
ストックオプションの行使による収入	29,526	5,320
配当金の支払額	△237,104	△179,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,204,569	15,897,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△17,599
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,907,417	2,557,420
現金及び現金同等物の期首残高	6,131,797	14,148,419
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,039,214	16,705,839

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金融事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	6,961,640	1,350,791	8,312,432	209,731	8,522,163
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	—	1,521	1,521	198,926	200,447
計	6,961,640	1,352,313	8,313,954	408,657	8,722,611
セグメント利益	2,575,650	236,468	2,812,119	30,687	2,842,806

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータの運用及び管理業務、ソフトウェア受託開発及び運用指導業務であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,812,119
「その他」の区分の利益	30,687
セグメント間取引消去	640
全社費用 (注)	△69,840
四半期連結損益計算書の営業利益	2,773,606

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	金融事業	不動産事業	海外事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	7,900,140	1,145,140	906,377	9,951,657	154,549	10,106,207
セグメント間の内部営業収益又は振替高	205,910	12,539	—	218,450	299,007	517,457
計	8,106,051	1,157,679	906,377	10,170,108	453,556	10,623,664
セグメント利益	2,022,562	60,716	103,811	2,187,090	60,667	2,247,758

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータの運用及び管理業務、ソフトウェア受託開発及び運用指導業務であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「金融事業」セグメントにおいて、楽天株式会社よりK Cカード株式会社(旧 楽天K C株式会社)の株式を取得し、当社の連結子会社といたしました。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の「金融事業」セグメントの資産の額は、94,123,827千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,187,090
「その他」の区分の利益	60,667
セグメント間取引消去	△112,439
全社費用(注)	△177,604
四半期連結損益計算書の営業利益	1,957,714

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「金融事業」セグメントにおいて、楽天株式会社よりK Cカード株式会社(旧 楽天K C株式会社)の株式を取得し、当社の連結子会社といたしました。企業結合時において、同社の資産・負債の時価を再評価した結果、負ののれん29,444,347千円が発生し、当第2四半期連結累計期間において特別利益(負ののれん発生益)に計上しております。

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成23年4月1日に、海外で事業を営むネオオンラインクレジット貸付株式会社の発行済株式の全株式を取得し、当社の連結子会社としたことに伴い、報告セグメント「海外事業」を新たに追加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間については、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月1日に楽天株式会社よりK Cカード株式会社(旧 楽天K C株式会社)の株式を取得し、当社の連結子会社といたしました。企業結合時において、同社の資産・負債の時価を再評価した結果、負ののれん発生益29,444,347千円を当第2四半期連結累計期間において特別利益に計上しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末の株主資本が著しく増加しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

営業実績

(1) 貸付金残高の内訳

区分			前第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)		当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	
			金額(千円)	構成割合 (%)	金額(千円)	構成割合 (%)
国内	事業者向貸付業務	商業手形割引	1,515,061 (7,881)	7.7	2,066,282 (5,772)	11.5
		無担保貸付	1,286,366 (22,144)	6.6	966,054 (16,890)	5.4
		有担保貸付	1,789,492 (113)	9.2	1,265,501 (2,500)	7.0
		小計	4,590,919 (30,139)	23.5	4,297,838 (25,162)	23.9
	消費者向貸付業務	無担保貸付	17,464,030 (2,754,563)	89.3	9,495,610 (1,654,069)	52.9
		企業結合調整	△3,361,909	△17.2	△1,571,710	△8.8
		有担保貸付	865,391 (19,321)	4.4	890,455 (54,248)	5.0
	小計	14,967,511 (2,773,885)	76.5	8,814,355 (1,708,318)	49.1	
	商業手形割引 合計		1,515,061 (7,881)	7.7	2,066,282 (5,772)	11.5
	営業貸付金 合計		18,043,370 (2,796,143)	92.3	11,045,911 (1,727,708)	61.5
合計		19,558,431 (2,804,025)	100.0	13,112,194 (1,733,480)	73.0	
海外	消費者向貸付業務	無担保貸付	— (—)	—	4,842,184 (—)	27.0
総合計			19,558,431 (2,804,025)	100.0	17,954,378 (1,733,480)	100.0

(注) 1. ()内は内書きで長期営業債権であります。

2. 海外の消費者向貸付業務は、ネオラインクレジット貸付(株)で行っております。なお、平成23年4月1日に連結子会社となったため、前第2四半期連結会計期間末は記載しておりません。

(2) 割賦立替金残高

区分	前第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)		当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	
	金額(千円)		金額(千円)	
割賦立替金残高	2,541,856 (39,208)		89,535,929 (8,704,346)	

(注) 1. ()内は内書きで長期営業債権であります。

2. 平成23年8月1日にKCカード(株)を連結子会社としたことにより、割賦立替金が著しく増加し、重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間末より別掲しております。

(3) 債務保証残高の内訳

区分	前第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)		当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	
	金額(千円)	構成割合 (%)	金額(千円)	構成割合 (%)
無担保	5,115,866	61.5	4,854,554	37.5
有担保	3,205,448	38.5	8,076,348	62.5
合計	8,321,315	100.0	12,930,902	100.0

(4) 営業収益の内訳

(単位：千円)

区分		前第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)
1. 消費者向				
(1) 無担保貸付	1. 証書貸付	1,543,510	1,758,243	2,690,447
(2) 有担保貸付	1. 不動産担保貸付	54,644	59,688	110,796
	消費者向計	1,598,154	1,817,932	2,801,244
2. 事業者向				
(1) 商業手形割引	1. 受取割引料	57,683	103,451	141,409
(2) 無担保貸付	1. 手形貸付	7,273	23,993	17,618
	2. 証書貸付	40,092	30,877	67,370
	小計	47,366	54,870	84,989
(3) 有担保貸付	1. 不動産担保貸付	23,311	20,712	66,463
	2. 有価証券担保貸付	865	2,104	2,883
	3. ゴルフ会員権担保貸付	277	135	435
	4. 診療報酬債権担保貸付	226	481	556
	5. 保証金担保貸付	2,206	1,649	4,139
	小計	26,887	25,083	74,478
	事業者向計	131,938	183,404	300,877
I. 貸付金利息・受取割引料		1,730,092	2,001,336	3,102,121
II. 買取債権回収高		733,592	1,415,271	2,669,992
III. 不動産事業売上高		1,350,791	1,145,140	3,167,160
IV. 割賦立替手数料	1. 包括信用購入あっせん収益	—	518,841	—
	2. 融資収益	—	1,922,893	—
	3. 割賦立替手数料	379,761	161,256	616,679
	小計	379,761	2,602,991	616,679
V. その他	1. 受取手数料	172,568	176,515	391,370
	2. 受取保証料	253,455	313,764	513,968
	3. 預金利息	1,747	4,577	2,970
	4. その他の金融収益	3,620,066	1,929,079	5,823,330
	5. その他	280,086	517,530	621,373
	小計	4,327,925	2,941,467	7,353,013
営業収益計		8,522,163	10,106,207	16,908,967

(注) 1. その他の金融収益は、主に債権買取業務における貸付債権の回収額と当該取得原価との差額を計上したものであります。

2. IV. 割賦立替手数料の「1. 包括信用購入あっせん収益」及び「2. 融資収益」は、ＫＣカード(株)にて取り扱っておりますクレジットカード業務の収益となります。なお、同社は平成23年8月1日に連結子会社となったため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度は記載しておりません。